

# 議 事 録

## －令和5年度第3回浜松市森林・未来構想会議－

日時：令和5年12月15日（金）午後1時30分～3時45分

場所：静岡県浜松総合庁舎7階 703会議室

内容：

### 1 開会

### 2 あいさつ

### 3 議題

#### (1) 意見交換

- ・浜松市の森林・林業における課題及び解決策について【資料1、2】

#### 浜松市

前回は課題に特化した意見交換、今回は解決策に特化した意見交換を想定していたが、事務局として、課題についてしっかり整理することが重要と考え、今回も課題の意見交換を行い、次に解決策について議論していきたいと考えている。

本日の会議で解決策の整理まで完了することが目標だが、状況により解決策がまとまらなかった場合は、例えば第4回を1月に開催し、意見交換を継続するなどの柔軟に対応していきたい。

➤意見交換における主な発言は以下のとおり。

#### <前半>

##### A氏

- ・製材分野の担う役割が増えてきている。
- ・生産コストを踏まえた価格差は致し方ないが、製材所の流通・販売能力が不足している。
- ・抱える課題は、設備投資をしたからといって解決できるものではない。

##### B氏

- ・多くの工務店は、流通から材を仕入れているが、流通を通すとやはりその分価格が上がるため、自社では製材所から直接仕入れている。
- ・工務店でも直接の取引は十分できるはず。川下側に努力がないと、川上・川中に迷惑をかける。川下側が意識を高めないと川中・川上への還元が続かない。
- ・流通が出てきたことで、製材と直接関われる機会が減ってきてしまったが、製材としても流通できる能力自体があるはずなのに、その意識がないところも多い。

##### C氏

- ・流通が天竜材を選ばないことが住居る事業の実績減に繋がっている。

##### D氏

- ・丸太・木材と身近に向き合えることが必要。浜松地域ではその環境を整えることができるはず。山と施主をつなぐことが必要。
- ・流通や施主の意識づけをしていく。流通には流通にできる役割があるはず。

**B氏**

- ・先日、天竜の山を見学するツアーを実施。ゼネコン社長から「伐採現場を初めて見た」という発言があり、驚愕した。ユーザーと山を繋ぐことが重要だと改めて実感した。

**E氏**

- ・工務店でできないこと+αをするために存在している流通もいるが、単に利便性を取って流通を介してしまう工務店があるのも事実。
- ・工務店は、これまで以上に施主と山の間に入っていくべき。

**F氏**

- ・何も知らなかった状態で他地域から移り住み、森林・林業のことを少しずつ知ってきた。消費者は実際価格でしか判断されないが、生産者の苦労・努力を知っていく中で、「これならばこの価格は納得できる」と理解が深まった。消費者の意識を変えていくことが重要と考える。

**C氏**

- ・カーボンと絡めた環境政策によって意識改革を行っていくことが必要。

**E氏**

- ・ジャパンホームショーでの出展を経験し、これまでは環境意識の高い一部の企業のみがブースへ訪れていた印象だが、その意識の高まりが広がっていると感じている。

**B氏**

- ・カーボン、SDGsの盛り上がりを見せているのは自動車産業中心で建設業はそこまで。川下側が施主と一緒に山へ訪れる必要性が高まっている。そういった案内ができる組織が増えてくるといい。

**<後半：解決すべき課題の優先付け>****浜松市**

- ・前半は個別の事情を含めた御意見をいただいたため、後半はより大きな視点で「地域としての課題について」御意見をいただきたい。

**C氏**

- ・林道整備や安全対策が不十分。

**G氏**

- ・経済として回っていないため、皆伐、植林に繋げる力がない。間伐をやるしかない。昔であれば、間伐は良い木を育てるための間伐であったが、今は売るための間伐。
- ・所有者を含め、山への関心が薄れている。

**D氏**

- ・山を見に行くことができる環境、制度の整備が必要。

**E氏**

- ・山へ連れて行くことは重要だが、連れて行くには環境が不便である。気軽に見に行くことができるモデル的な森林があればよい。

**F氏**

- ・個人や学校を含め、山に行きたい人から会社宛てへの問い合わせが増えているが、なかなか気軽には連れて行くことができない。

**浜松市**

- ・今の学校では林業を学んでいない。例えば、市内すべての学校が山を見に行く仕組みを作

れば、一つの産業になるのでは。

**C氏**

・作業員もインストラクターをできるようにになれば、モチベーションは上がるはず。

**B氏**

・この仕組みはぜひ実現してほしい。川下の意識が変わらないと、川上・川中がどれだけ頑張っても繋がっていかない。

**浜松市**

・ファンを増やす、理解を促進するためのご意見はいただいたが、産業としての林業の視点で考えられる課題はないか。

**C氏**

・木が植物であることを理解して、適切な伐採時期を踏まえた施業を実施していくべき。

**A氏**

・今の林業のシステムはある程度成熟している。まず生産性を上げるのではなくて、需要があるから生産量を増やすという流れにしなければならない。まずは需要を創出することが重要。

**C氏**

・低コスト化、林業機械・施設の整備はもちろんこれからも重要だが、それは譲与税を活用せずともこれまでもやってきたこと。

譲与税を使った新たな事業として、山に人を呼ぶ・ファンを増やす仕組みづくりをすべきという考え。

**浜松市**

- ・山に人を呼ぶことの重要性は十分理解しているが、数字として現れるには時間がかかる。まずは生産としての数字が上がらないと、山に人を呼ぶ取組自体が続けられないのではという危惧があるため、生産量の向上と環境整備を両輪で進めていくべきではと考えている。
- ・提言に向けては、短期的な視点と長期的な視点で、複数項目の提案というイメージが望ましいかと。
- ・本日は時間も迫ってしまったため、ここまでとさせていただき、こういった方向性で次回以降議論を進めていくべきではないかと考えている。

#### 4 報告、連絡事項

**浜松市**

第4回目も引き続き課題及び解決策について意見交換を行わせていただきたい。日程は追って調整させていただく。

#### 5 閉会